



ふじもとともこ  
藤本智子

にほんきょうさんとうつしぎだん  
日本共産党津市議団

### 183億円の貯めこみ金で市民サービスを充実を

**問** 市民サービスカット、職員削減によって作りあげた183億円もの積立金は、「健全な財政」といえるのか。この金額は、市民1人当たり65,000円にのぼり、名古屋市の10倍にあたる。税金は基本的には単年度主義であり、貯めこみ金が増えるということは、納めてもらった税金に見合うサービスができていないことになる。市民サービスのために使うべきではないか。

**答** 財政調整基金は、年度間にわたる財政の平準化を図る目的もあり、年度当初は、財政調整基金をある程度充てることを見込んで予算を編成しなければならないため、毎年、財政調整基金をゼロにすることはできない。年度末に財政調整基金が一定確保されたことは、将来の市民のために使う財源として確保されたということである。過去から健全な財政運営を続けてきた結果、市民1人当たりの財政調整基金の額は比較的多いが、これが将来どうなるかは、予断を許さない面がある。今後、仕上げていかなければならないプロジェクトが多く、一般財源も必要なことから、現時点で財政調整基金が少し多めに維持されていることをもって健全な財政でないとは思わない。

### ●その他の質疑・質問●

- 高すぎる国保料の1世帯1万円の引き下げを
- 毎年100人を超える待機児童対策を
- 総合支所のインフラ整備事業の増額を
- 日常生活道路の整備促進、団地内道路の整備計画策定を
- 学校の大規模改修に併せ普通教室にエアコン設置を
- 安濃川の整備促進を など



▲「より快適な教育環境」の確保に全教室へエアコン設置を



おかゆきお  
岡幸男

けんとうくらぶ  
県都クラブ

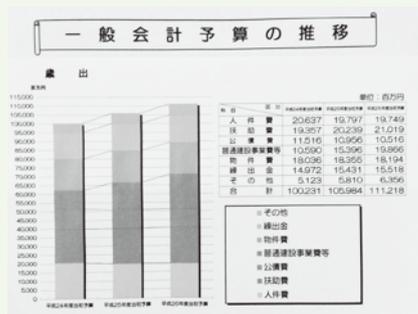
### 増大する社会保障費予算の将来展望は

**問** 一般会計の扶助費、特別会計の国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の予算は、年々増加するばかりであるが、今後の展望は。また、消費税増税がこの対策になるのか。負担が増加している保険料の低所得者に対する軽減措置および高齢化率増大に歯止めをかけるため、若者が住みたくする市、子育てのしやすい市を目指す施策の充実を。

**答** 津市の社会保障給付費は、国の見通しと同様、今後も増加していくものと考えている。消費税増税に関しては、社会保障制度改革推進法において、社会保障給付に要する費用に係る国および地方公共団体の負担の主要な財源には、消費税および地方消費税の収入を充てるとされている。高齢化が進む中で、子ども・子育て支援は、少子化対策の中でも重要な位置づけにあるとの認識のもと、平成26年度から子育て推進課を設置し、政策のとりまとめ担当を置くこととした。平成27年度からの子ども・子育て支援新制度のスタートに向けて設置した津市子ども・子育て会議における議論も踏まえ、これからの津市の子ども政策をしっかりと考える1年にしたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 老朽化した施設の改修計画の必要性は
- 「MIE-NET」の試行に向けて
- 学校図書館の充実について
- 学校いじめ防止基本方針の策定に向けて
- 高田本山・一身田寺内町の歴史的資源の保全と活用の推進を
- 幼保連携型認定こども園制度のスタートに向けて など



▲増大する社会保障費の予算に占める割合と推移